

①気にかけた、気かけあう行動や取組の内容

地域の活動を知ってもらおう	こちらからできるだけ声をかける	子どもとつながりができた	登校の見守り（堀川小 約1,000人）
啓発活動	イベント	あいさつでつながる	マンション単位で「終活セミナー」
要援護者名簿	未返信者へのアプローチ 要援護者名簿	マンションアプローチ （管理人との関係づくり）	
継続的な現状確認			

②課題と感じたこと

大人のあいさつ	下校時の見守りも必要	自転車が危ない	国道1号線は交通量が多く、事故の可能性があり
後継者問題	活動を周知するためにどう工夫すべきか？		
障がい者の居場所がない	困りごとやニーズをアウトリーチする	高齢者自身が我が事に感じていない	現役引退後（60歳～）に居住し、周りに知人がいない
見守りがない	個人情報の取扱い	訪問するも会えない	

③連携・協働について

女性会、体協、子ども会、PTA活動とのつながり？	登校見守りの実施により小学校の校長、教頭とのつながりができた	
他機関とつながる	豊崎じんじん (ボランティア、企業、商店街)	
自治会	小中学校	民生委員児童委員、地域福祉コーディネーターと連携し、多くの目で見守り活動
スポーツセンター		

④工夫・改善点・アイデア

地域の会館に行ってみる	専門職の方に直接活かしてもらうのが良い	地域でいろんな事業をすると参加しやすい
北区内商店街の連携し、空きスペースを活用する		
地域の会館等に教室での開催の企画を一緒にできる	相談があった方に個人情報の合意の声掛け方法を伝える	未返信者の方に事業の取組説明
同意者の現状確認の仕方	総合的な窓口からつなぐ	